

平成23年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告



佐世保市立祇園中学校

所在地 佐世保市花園町10番1号

校長 本山 修

生徒数 1年生 132名

2年生 140名

3年生 125名

総計 397名

特別支援学級 2クラス

学級数 12クラス

全 14クラス

Make History 祇園

新たなる第一歩を

1 「Make History 祇園」～踏みだそう新たなる第一歩を～

本年度の4月1日に、旭中学校と花園中学校の良き伝統を受け継いで、新生「祇園中学校」が開校しました。生徒数は397名になり市内でも7番目に大きい学校になりました。統合前の課題であった部活動も、バドミントン部、学芸ボランティア部の2部が新設され、活動にも活気もどりました。

新たに制定された校章のデザインは、祇園の「G」と中学校の「中」を基本に、未来に飛翔する鳥をイメージされたもので、全体のフォルムは、「豊かな感性と優しさ」を育みながら、夢や希望に向かってチャレンジする生徒の姿を表すとともに、無限の広がりや輝きをイメージしてあります。人間として最も成長する中学校時代の躍動と大きく翼を広げて羽ばたこうとする姿を表すデザインになっています。新たなる歴史と伝統の扉が今、まさに開かれました。



2 学校教育目標 校訓「理性・創造・尚志・自彊」

- | | |
|----------------------------|--------------|
| ○ 確かな判断力で、当たり前の行動ができる生徒の育成 | G…義務を果たす生徒 |
| ○ 向学の意気高く、創造力豊かな生徒の育成 | I…意気盛んな生徒 |
| ○ 尚い志をもち、和してやり遂げる生徒の育成 | O…思いやりのある生徒 |
| ○ 心身たくましく、努力を重ねる生徒の育成 | N…忍耐強くやりぬく生徒 |

3 特色ある学校づくりで目指すもの

上記学校教育目標の具現化のために、以下に「特色のある学校づくり」の目的を設定しました。

- (1) 本校の立地条件を活かした教育の展開を図り、豊かな感性や人間としての在り方、生き方などを学ばせる。
- (2) わかる授業の展開や、授業法の改善、朝読書の推進、学習案内を用いた家庭学習との連動など基礎学力の定着を図る。
- (3) 専門家による健康や性についての講演、食育教育を通して「健康教育」の推進にあたる。
- (4) 各種講演会を実施し、保護者への啓発活動の展開を図りながら家庭教育との連動を図る。
- (5) 開かれた学校を目指し、保護者・地域と連携し、地域の中核としての機能の充実を図る。
- (6) 開校にあたり、新たなる歴史と伝統づくりに邁進し、学校運営の基盤を形成する。

4 特色ある学校づくりの実践

(1) 開校式典の開催

10月21日には、市民会館において末竹副市長様をはじめ、来賓・保護者・地域の多くの方々にご来場いただき、開校を祝いました。来賓のご祝辞や両校に縁のあるファミリーコールの皆様のコラスにより式典に華を添えていただきました。

当日は、校内合唱コンクールも同時に開催し、生徒たちの歌声を披露いたしました。また、団員が50名にも増えた吹奏楽が演奏を行うと会場からは盛大な拍手を送られました。

式典の最後には、旭中学校のご出身で、本校校歌の作曲者である鳴門教育大学の松岡貴史教授に校歌に、込められた想いを語っていただき、全校生徒で斉唱して、開校式典を終了しました。ご出席いただいた皆様のお陰で、新たなる旅立ちにふさわしい感動的な式典となりました。



(2) 心の教育の推進

① 「いのちを見つめる強調月間」講演

本年度は、東京都で救急救命士として活躍された、本校の校医の犬塚祥先生を講師として呼び出して、「命」の尊さ、かけがえのない存在であることを、これまでの救急救命医療の現場の経験をもとにご講演いただきました。かけがえのない命と対峙してある人の死について深く考える機会となりました。



② 一斉道徳授業の公開

6月3日には、「いのちを見つめる強調月間」の取組の一環として、道徳の一斉授業公開を行いました。

保護者95名、民生委員の皆様方など多くの方々にご来校いただき、生徒たちもはりきって授業に参加していました。プロジェクトやビデオ教材を用いて、参観の保護者と一緒になって「命」を深く考える一日となりました。



③ 図書ボランティアによる読み語りおよび親子花植え

豊かな心を育む取組の一環として、図書ボランティアの方々による昼休みの絵本の読み語り会や、PTAと共同の親子花植え作業を実施しました。学級園が、一気に華やかな彩りに飾られました。



(3) 健康教育の推進

「大地といのちの会」の中尾慶子先生から「食」の大切さをご講演いただき、その実践として「お弁当の日」を実施しました。また、性教育講演会では「幸せな未来のために」と題して長崎県看護師会の片山範子先生をお呼びして、性感染症や中絶についての話を聞き、相手を思いやる心の大切さを教えていただきました。歯科講話では、歯科校医の徳富敏信先生に歯周病の恐ろしさや8020運動の大切さを教わりました。



(4) 福祉教育の推進

3年生の総合の時間では、福祉体験学習として福祉施設を訪問し、お年寄りの方々との交流や寸劇の披露、車いす体験等、障がいのある方々の苦労を体験し、どのような支援が必要なのかを考えました。



(5) 人権・平和教育の推進

6. 29佐世保空襲講演会では、校区内の山口慶太郎先生に「戦争を生き抜いた青春時代の思い出」と題して講演をいただきました。また、8月9日には、生徒会が長崎原爆についてまとめたものを発表したり、被爆記の朗読披露を行いました。1年生は総合の時間に「ふるさと発見学習」として史談会の宮崎先生にご案内と解説をしていただき、佐世保に今も点在する戦争の遺跡を巡り、模造紙にまとめ学習を行いました。



(6) 防犯・防災・安全教育の推進

東日本大震災を受け、佐世保中央消防署より講義をいただきました。緊急時の対応の仕方や非常持ち出し品のリストアップなど大変有意義な内容を教えていただきました。また、薬物乱用防止教室では、スクールサポーターの掛屋先生に、薬物の恐ろしさや身近に潜む罠などについてお話をいただきました。



(7) マナー講座の実施

ソーシャル淳心ファッションビジネス専門学校の梶谷よし子先生から、礼儀作法やあいさつの大切さを学びました。2年生は早速、職場体験学習で活用できるように、来客の対応の仕方や心のこもった接客のあり方も指導していただきました。



(8) 学力向上の取組

授業改善のための校内研修では、外部講師をお呼びして意見をうかがうなどの研修を進めました。T・Tの授業（1時間の授業に2人以上の教員で授業を進めるやり方）の効果的な進め方、生徒同士の教え合い学習（ピアサポート）の進め方等の研修を進めております。また、職員室前には「学びの廊下」を設置し、生徒たちは自学に励んでいます。さらに、校内研修として、子どもたちの心のケアの在り方や、少年犯罪の実態などについての講義を受けました。スクールカウンセラーの吉田先生やスクールサポーターの掛屋先生、特別支援学級では、岩永竜一郎教授にご指導をいただきました。



(9) 本物を学ぶ 伝統文化学習

総合的な学習の時間の中で、本校の地理的条件を生かし、2年生を対象に日本の伝統文化を学習しました。本物と出会い、実際に体験することで、わが国の文化にふれ、基本的な礼儀や作法を体得することを目的としています。本年度は8コースを開設し、その道の達人の先生方に教えを請いました。裏千家淡交会や華道草月流、新小笠原流煎茶道、箏曲オーリーブの会、日本民謡協会佐世保支部、世界俳句クラブ、書道尚朴会、佐世保弓道協会等、本市を代表とする著名な方々に細やかにご指導していただきました。



弓道



茶道（裏千家）



書道



華道（草月流）



箏曲



俳句



郷土民謡



煎茶道

おわりに

学校統合は、主人公である生徒はもちろん、教職員も保護者も、そして地域の方々にとっても、たいへんな事業です。統合してはじめてわかる困難さが次々と出てくる中で、生徒たちは、旧知の仲のように何事も協力して取り組み、すばらしい感動を与えてくれました。生徒たちのすばらしさを再認識させられました。統合に関する課題はまだまだ山積していますが、一つ一つ解決していきたいと思えます。平成25年2月には、旧旭中学校跡地に待望の新校舎が完成する予定です。これからは、「統合」から「融合」へをキーワードとして、新設2年目の充実に向けて邁進したいと思います。今後とも新生「祇園中学校」をよろしくお願ひいたします。



「少年の主張大会」県大会最優秀賞 3年三上君

